



いちかわみさと 議会だより

第38号

2015年2月1日 発行



●出初式

平成26年 12月定例会 第2回臨時会 第3回臨時会

| | |
|--------------------|------|
| ● 条例制定・条例改正・廃止 | 2 |
| ● 平成26年度一般会計補正予算 | 3 |
| ● 常任委員会報告・指定管理者の指定 | 4~5 |
| ● 組合議会報告 | 6~7 |
| ● 一般質問一覧 | 8 |
| ● 6議員が一般質問 | 9~14 |
| ● 審議結果・人事 | 15 |
| ● みんなのページ | 16 |

条例の制定 1件 改正 3件 廃止 1件

平成26年第4回定例会は、12月8日から19日までの12日間にわたり開催されました。

今定例会では、平成26年度一般会計・補正予算専決処分1件、条例制定1件、条例改正3件、条例廃止1件、一般会計・特別会計補正予算7件、計画変更1件、指定管理者の指定1件、町道路線の認定2件、契約1件、同意・諮詢8件の、26議案が提出され、いずれも原案どおり可決、承認、同意されました。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

条例制定の必要が生じ、一般原則として、小学校1年生から6年生まで対象児童とされた。

国民健康保険条例の改正

出産一時金が39万円から40万4千円に改められた。

都市計画税条例の改正

税率の特例が28年度まで延長された。

定住促進住宅設置及び管理条例の改正

山保定住促進住宅3棟の名称・所在が定められた。

福祉保健総合ステーション運営委員会

設置条例の廃止

岐南医療センター企業団発足に伴い、施設が町の所有でなくなりたため廃止された。

第3回臨時会 11月25日に開催されました。

内 容

- 緊急執行を要し、災害復旧費追加のため、7,926千円を追加した。
- 人事院及び県人事委員会より給与改正が勧告されたことに伴い、職員等の給与条例改正が行われた。

主な改正点は、

- 職員給与と民間給与との比較に基づき、若年層に重点を置きながら、4月にさかのぼり給料表を引き上げた。
 - 期末勤勉手当についても民間の支給月数との均衡を3・90月から4・10月に0・2月引き上げた。
- これに伴い町長、教育長及び特別職についても同様の措置を講じる必要があるため、条例の一部を改正。
- 鳴沢川高田地区内水対策ポンプ設置工事請負契約の締結についていずれも原案どおり可決、承認された。



平成26年度 一般会計補正予算

(万円未満は四捨五入)

収入支出の補正額は

補正額 1億8,004万円

総額 93億1,658万円

収入の
おもな
内訳は

| | |
|---------|---------|
| 地方交付税 | 9,568万円 |
| 国庫支出金 | 2,123万円 |
| 県支出金 | 2,309万円 |
| 諸収入 | 989万円 |
| 町債(借入金) | 3,015万円 |

おもな使いみち

第2回 臨時会

民生費

認定こども園整備事業費補助金 2,413万円



認定こども園となる予定の市川幼稚園

第4回 定例会

総務費

衆議院議員選挙費(専決処分) 1,282万円

民生費

| | |
|-----------------|---------|
| 私立保育園運営費国・県償還金 | 742万円 |
| 私立保育園運営費負担金追加 | 2,446万円 |
| 国民健康保険特別会計繰出金追加 | 1,134万円 |

第3回 臨時会

総務費等

人事院勧告に基づく人件費追加 1,737万円

衛生費

| | |
|---------------|---------|
| 合併浄化槽設置補助金追加 | 341万円 |
| 簡易水道特別会計繰出金追加 | 1,038万円 |

災害復旧費

台風18・19号による災害の復旧 793万円

農林水産業費

| | |
|------------------|---------|
| 高田排水機場建設に伴う用地購入費 | 1,383万円 |
| 町道矢作上野線に係る補償金追加 | 1,285万円 |

総務教育

開催日
12/10

問 都市計画税はどのように活用しているか。
石原税務課長 公共下水道事業の償還に充てている。

問 私立保育園の運営費負担金2,185万円計上されているが、人数は何人か。

武田財政課長 高田598人で見込より68人増加、定林寺立正310人で58人増加、ひまわり812人で80人増加した。

問 消防団ホースタワー移設、防災無線マスト移設の地域はどこか。
志村総務課長 ホースタワーは、下大鳥居、大同地区公民館であり、マスト移設は町内全域である。



問 若者定住促進住宅補助金制度はどこの地域が対象か。
伊藤企画課長 10月1日から山王地区、平成27年4月1日から町内全域である。

問 県外スポーツ大会出場補助金の対象は。

河西生涯学習課長 体育協会、社会体育団体並びに個人である。

問 観光施設改修の内容は。

企画課長 みたまの湯等の内装の改修である。

問 旧大同公民館跡地の利用計画は。

企画課長 防火水槽もあり今後府内で検討していく。

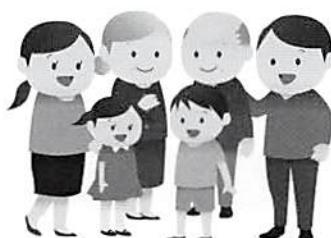
厚生

開催日
12/11

問 放課後児童健全事業の場所と登録人数は。
網倉いきいき健康課長 上野児童50人、大塚児童29人、こども館友優13人、児童館学童50人、高田学童38人、上地区公民館19人、大同学童8人、山保学童11人、六郷学童39人である。

問 対象を3年生までを6年生まで拡大する事であるが施行日は。

いきいき健康課長 27年4月1日である。



問 円滑な運営ができるよう充分な準備をしてほしい。
いきいき健康課長 現在でも定員オーバーしている所もあり早急に準備したい。

問 職員の資格として児童支援員の資格が新設されたが、現状と課題は。

いきいき健康課長 学童保育に2年間勤務し高卒以上でありほとんどの職員が、該当する。

問 住民への周知は進んでいるか。

いきいき健康課長 平成27年2月に説明会を行う。

問 一般被保険者高額療養費の補正額が20%以上になつているが要因は。

小林町民課長 慢性腎不全などの特定疾病、悪性腫瘍がん等の医療費が増加している。

常任委員会



土木環境

開催日
12/16

問 浄化槽設置補助金の追加の場所は。
内藤生活環境課長 黒沢地区2箇所である。

問 山王の宅地開発での販売の進捗状況は。
遠藤建設課長 本町分保留地23区画あり5区画売買契約済、2区画が交渉中である。

問 公有財産購入の目的は。
丹沢産業振興課長 高田排水機場の建設用地である。

問 新宇野尾トンネルがあるのに未だに旧トンネルを使用している、果たして必要なのか。
建設課長 町道は不特定多数の方が利用している。将来的に状況が変わらないかぎりなくす事は難しい。

問 三珠陸橋建設水道管布設工事費追加の説明を。

問 内藤生活環境課長 陸橋の両側に径が200ミリ長さ

50mの送水管と排水管を製作する費用である。年度の前倒しのための追加である。



三珠陸橋

問 みたまの湯指定管理者の指定について、今回の契約に至つてどのような見直しをし町民にどのような負担軽減されたか。

問 みたまの湯指定管理者の指定について、今回の契約に至つてどのような見直しをし町民にどのような負担軽減されたか。

※指定管理者制度
公の施設の管理・運営を、株式会社やその他の団体に代行させることができる制

度。指定管理者の指定は、地方自治法の規定により議会の議決が必要。

■指定管理者
住所 山梨県韮崎市円野町上円井932番地
名称 株式会社 内外ビル
代表 代表取締役 内藤 篤
■指定の期間
平成27年4月1日から
平成32年3月31日まで

「みはらしの丘・みたまの湯、のつぶいの館」
(公募の結果、一社のみの応募)



の報告

三郡衛生組合

第2回定例会10月16日

最初に議長選挙が行われ、本町の有泉希議員が議長に選任されました。

平成25年度一般会計、し尿処理、火葬事業特別会計決算認定3件で、いずれも原案どおり認定されました。

火葬事業特別会計で大きなウエイトを占める公債費の償還終了は、平成30年であります。

第3回定例会11月28日

組合職員給与条例の一部を改正する法案1件で、人事院及び県人事委員会の勧告に伴う職員給与を改正するもので、原案どおり可決されました。

(報告 一瀬 正)

| 平成25年度 三郡衛生組合決算 | |
|-----------------|----------------|
| 一般会計 | |
| 歳 入 | 1,934万円 |
| 歳 出 | 1,557万円 |
| 差し引き | 376万円 |
| 本町の負担金 | 276万円 |
| し尿処理事業特別会計 | |
| 歳 入 | 3億4,129万円 |
| 歳 出 | 3億2,134万円 |
| 差し引き | 1,995万円 |
| 本町の負担金 | 4,173万円 |
| 火葬事業特別会計 | |
| 歳 入 | 2億 311万円 |
| 歳 出 | 1億8,438万円 |
| 差し引き | 1,872万円 |
| 本町の負担金 | 744万円 |

中巨摩地区広域事務組合

9月定例会9月30日

平成25年度一般会計、ごみ処理、地区公園、老人福祉、勤労青年センター、し尿処理事業特別会計決算認定、監査委員選任7件で、いずれも原案どおり認定、

可決されました。

| 平成25年度 中巨摩地区広域事務組合決算 | |
|----------------------|----------------|
| 一般会計 | |
| 歳 入 | 3,658万円 |
| 歳 出 | 3,338万円 |
| 差し引き | 320万円 |
| 本町の負担金 | 253万円 |
| ごみ処理事業特別会計 | |
| 歳 入 | 18億5,108万円 |
| 歳 出 | 18億1,453万円 |
| 差し引き | 3,655万円 |
| 本町の負担金 | 8,073万円 |
| 地区公園事業特別会計 | |
| 歳 入 | 871万円 |
| 歳 出 | 794万円 |
| 差し引き | 77万円 |
| 本町の負担金 | 68万円 |
| 老人福祉事業特別会計 | |
| 歳 入 | 3,424万円 |
| 歳 出 | 3,287万円 |
| 差し引き | 137万円 |
| 本町の負担金 | 252万円 |
| 勤労青年センター事業特別会計 | |
| 歳 入 | 5,488万円 |
| 歳 出 | 5,459万円 |
| 差し引き | 29万円 |
| 本町の負担金 | 490万円 |
| し尿処理事業特別会計 | |
| 歳 入 | 2億4,472万円 |
| 歳 出 | 2億3,966万円 |
| 差し引き | 506万円 |

峡南衛生組合

第2回定例会10月24日

平成25年度決算認定、条例改正、平成26年度一般会計補正予算、公平委員の選任の4議案で、いずれも認定、可決、同意されました。

| 平成25年度 島南衛生組合決算 | |
|-----------------|----------------|
| 一般会計 | |
| 歳 入 | 4億4,268万円 |
| 歳 出 | 4億3,054万円 |
| 差し引き | 1,214万円 |
| 本町の負担金 | 5,516万円 |

職員給与条例の一部改正及び平成26年度一般会計補正予算の2議案で、条例の一部改正では、人事院及び県人事委員会の公務員給与に基づく勧告に伴う改正であり、補正予算についても関連するもので原案どおり可決されました。

第1回臨時会11月28日

公平委員には本町から、小林勝己氏が選出されました。

組合議会

峡南広域行政組合

第2回臨時会 11月26日

| 平成25年度 島南広域行政組合決算 | |
|-----------------------|------------------|
| 一般会計 | |
| 歳 入 | 19億3,407万円 |
| 歳 出 | 19億 948万円 |
| 差し引き | 2,459万円 |
| 本町の負担金 | 4億3,664万円 |
| 介護保険特別会計 | |
| 歳 入 | 2億4,625万円 |
| 歳 出 | 2億3,575万円 |
| 差し引き | 1,050万円 |
| 島南ふるさと市町村圏特別会計 | |
| 歳 入 | 4億3,079万円 |
| 歳 出 | 4億2,875万円 |
| 差し引き | 204万円 |

条例改正1件、平成26年度一般会計補正予算、介護保険特別会計補正予算の3件が提出され、いずれも原案どおり可決されました。

給与条例中改正は、県人事委員会勧告を受け、職員給与を平均0・24%引き上げるとともに、期末勤務手当の支給率を年間4・10月に改正するものでした。併せて勤務1時間当たりの単価を、労働基準法に沿った算出方法に改めました。

(報告 松野清貴)

| 平成25年度 山梨県後期高齢者医療広域連合決算 | |
|-------------------------|-----------------|
| 一般会計 | |
| 歳 入 | 4億7,400万円 |
| 歳 出 | 4億5,197万円 |
| 差し引き | 2,203万円 |
| 本町の負担金 | 1,152万円 |
| 特別会計 | |
| 歳 入 | 925億6,690万円 |
| 歳 出 | 908億1,363万円 |
| 差し引き | 17億5,327万円 |
| 本町の負担金 | 2億 198万円 |

平成25年度一般会計、特別会計の決算認定2件、平成26年補正予算2件で、いずれも原案どおり認定、可決されました。

補正予算では、医療給付積立金と、県支出行金の精算返還分を追加するものです。

(報告 内藤 優)

山梨県後期高齢者医療広域連合

第2回定例会 10月28日

峡南医療センター企業団

第1回定例会 10月17日

平成26年度、企業団会計専決承認1件、補正予算1件、決算認定1件で、いずれも原案どおり承認、可決、認定されました。

専決承認は、旧鰐沢病院から継続雇用2名の退職手当負担金。

補正予算は、新規採用された職員の退職者負担金、市川三郷病院産科オプション導入派遣医師の報酬等と産科セミオーブンシステムにかかる、超音波診断装置等の整備、富士川病院の病理診断室の検査機器等の整備費等でした。

平成25年度、峡南部二病院統合事務組合の会計決算認定では、実質収支額1億5,796万円を、峡南医療センター企業団に引き継ぐものです。

第2回臨時会 11月27日

審議された議案は2件。

企業長の給与及び旅費の条例改正は、人事院及び山梨県人事委員会勧告に伴う職員期末勤勉手当を改正するもので、関係の補正予算とともに、いずれも原案どおり可決されました。

(報告 内田利明)



町政をただす

平成26年 第4回定例会 6人の議員が質問

■一瀬 正 議員

- 1 高田排水機場建設工事のこれからの進行について
- 2 中高年齢者と女性のソフトボール練習場について
- 3 おとしよりが安心して住み続けられる町づくりについて
 - ①ショートステイがもっと簡単に使えないか
 - ②独居老人が多く、緊急の場合の相談に乗ってくれる体制を
 - ③介護支援1、2の支援が切られる中で、各地域で行っている生き生きサロンへの支援の充実を図って
 - ④高齢者を守る仕組みの整備による地域活性化を
 - ⑤高齢者の多い町として介護サービスの充実を
- 他3件の具体的な要求についての町の高齢者支援政策と方針について
- 4 来年度当初予算構成の時を迎える年度の目玉政策と重点事業について
- 5 新設平塩5号線を活用した町の住宅開発事業について
- 6 町民のための仕事起こしと地場産業を活かした産業振興の見解は

■高尾 貴 議員

- 1 再生エネルギーの進展に知恵を出し合い対策を
- 2 防災無線の難聴解消のための戸別受信機の貸与と地域防災計画の一部見直しについて

■内藤 優 議員

- 1 新たな「みつば祝金」支給条例の制定について
(子育て政策の前進のため)

■笠井 雄一 議員

- 1 避難行動要支援者名簿の作成について
- 2 避難行動要支援者避難支援計画策定について

■宮崎 博巳 議員

- 1 総合型地域スポーツクラブについて
- 2 DVの現状と課題について

■佐野 勝也 議員

- 1 六郷の里、ニードスポーツセンターの営業日について
- 2 人口増加策としての結婚支援について
- 3 買いかえ等で不要になった機器、公用自動車の処分の方法として官公庁オークションでの公有財産売却について

・顔写真は年一回の掲載です。

高田排水機場建設工事の進行は

一瀬 正議員

順調に推移、28年度完成予定――



高田排水機場

問 高田排水機場建設工事の進行について。

町長 本年度より、用地買収後、造成工事を行い、3年間で完成予定。

問 中高年齢者と女性のソフトボール練習場所の設置を。

町長 グラウンド使用調整会議等に参加できるよう情報周知も含め配慮する。

問 お年寄りが安心して住み続けられる町づくりについて。

①ショートステイがもう簡単に使えないか。

町長 ケアーマネージャー、包括支援センター等と早めに相談、対応する。

②独居老人が多く、緊急時、相談に乗ってくれる体制を。

町長 役場に連絡があれば対応する。

③介護支援一・二の支援が切れる。生き生きサロンなどの支援充実をはかつて欲しい。

町長 医療・介護・予防・住まい・生活支援などが、現できるよう検討する。

問 来年度当初予算編成時を迎える。生き生きサロンなどを重点事業については。

町長 今後も「地域起こし協力隊」や「地域創生」新規交付金事業などを検討し、手渡き和紙の継承者、農業後継者対策など、雇用の創設に努める。

富士見ふれあいサロン



町長 新規事業計画71件、普通建設事業59件、継続事業264件、特に市民の生活、生命、財産、老朽化した施設の改修、又、合併10周年記念事業などに重点を置いている。

問 新設平塩5号線を活用した町の住宅開発事業について。

町長 全線完成は、28年度末予定、その後、上下水道の整備や東西道路計画などを考え検討している。

塩沢川に橋を掛け東の地域との一体化を図り、平塩5号線と合わせ広域的に検討していく。

問 町民のための仕事起こしと地場産業を活かした産業振興の見解は。

町長 今後も「地域起こし

協力隊」や「地域創生」新規交付金事業などを検討し、手渡き和紙の継承者、農業後継者対策など、雇用の創設に努める。

再生エネルギーの進展に知恵を出し合い対策を

高尾 貴議員

——法の整備状況を注視、検討する——

問 環境にやさしいとされている再生エネルギーの主力、太陽光発電の普及に伴う対応策であるが、本町は急傾斜地、地滑り区域など354区域あり、そうした箇所に設置した場合、災害を招く恐れがある。また景観にも配慮が必要と考える。ソーラーパネルの寿命は、15年から20年といわれている。鉛など含まれているので廃棄の時や、人体に影響を及ぼすことが懸念される。メガソーラーを地域の発展に結びつけられるか。



ソーラーパネル

町長 急傾斜地、地滑り区域には法律で制限される。ソーラーパネル等の処分方法は法律により規制されている。メガソーラーを今後地域の発展に結び付けていくかは、国の指針をもとに検討する。

問 防災無線の難聴解消のための戸別受信機の貸与と地域防災計画の一部見直しについて。想定外といわれるどのような災害からも命を守り、財産を守ることは、日頃から心がけておくのが重要である。緊急時の処置を守り、財産を守ることは、いつでも対応できるよう戸別受信機の設置を検討できないか。レンタル方式や低所得者には補助できないか。

町長 難聴地区を中心に59台設置しており、希望があれば設置することを進めている。戸別受信機のレンタルでの設置や補助制度は調査研究していく。



防災無線マスト

一般質問

新たな「みつば祝金」の支給を

内藤 優議員

—財政力等を勘案し検討していく—

問　※三珠町の「みつば祝金」制度は廃止された。少子化社会の出生を祝い、子育て支援の必要性を感じる。子育て政策をさらに発展させるため、新たにみつば祝金支給条例を制定すべきと考えるが。



※三珠町みつば祝金

合併時に廃止された三珠町みつば祝金支給条例では第3子以降1人に20万円。同じく廃止された六郷町定住促進に関する条例では、小学校入学時祝金1人5万円が支給されるという制度でした。

町長 現在、少子化対策の一環として平成18年4月1日より、小学校入学時に2万円の子育て祝金を支給している。また、中学生までの医療費窓口無料化は、子育て支援策の有効な施策であると考え、県内でも早くから取り組みを開始している。町の財政力や将来の負担を勘案し、十分検討していく。

問　山王土地区画、山保定住促進住宅施策等若いを中心とした補助金制度は、優れた政策だと思うが、よそから来た方たちに対する施策、援助である。しかしこの地に留まり古くから居住し、子育てを懸命に努力している方も大勢いる。この人たちへの思いやり、配慮が必要ではないか。

町長 今、検討している高校3年生までの医療費窓口無料化等、子育て支援策の有効なひとつであると考える。

※合併特例算定替
合併前の旧市町村ごとに算定される額の合算額を下回らないように普通交付税を算定する。合併後、10年経過すると特例は、段階的に縮減される



※合併特例算定替

合併前の旧市町村ごとに算定される額の合算額を下回らないように普通交付税を算定する。合併後、10年経過すると特例は、段階的に縮減される

避難行動要支援者避難支援計画策定は!!

笠井雄一議員

—具体的な支援行動に結びつく計画に見直す—



ケアセンターいちかわ

問 東日本大震災を最大とする、昨今の豪雨・噴火等の経験の無い災害が発生。要介護者や障害者等の避難行動要支援者や避難支援等関係者の犠牲をおさえる事前準備、迅速な避難支援体制の確立となる、「要支援者台帳」整備の現在の進捗状況は。

町長 障害者、介護支援員、独居虚弱者、妊婦等に、安全な場所に避難・生活する一連の手続を支援する「避難行動要支援者名簿台帳」と、要支援者のうち、災害時要支援者登録により、支援を希望し、地域支援者等への情報提供に同意する「災害時要支援者登録台帳」の二つがあり、現在309人を受け付けた。

問 名簿の情報提供は。
町長 区長、組長、防災組織、民生児童委員、警察、消防署、社会福祉協議会等に提供。支援体制整備に活用し、町長が判断した場合、支援者にも提供することとしている。

問 台帳の管理・更新は。
町長 担当課でパソコンデータで管理、紙面台帳は鍵のかかる保管庫で厳重管理。区長、組長には情報管理を含め、台帳管理、引き継ぎの徹底をお願いしている。更新は、年度毎に行っているが、手作業のため課題もありシステム活用について模索している。

問 他市町村の中には、国の助成事業で台帳管理システムの導入により、毎月の更新や連絡等が円滑となっていると聞くが、本町では。
町長 現在は災害時要支援者支援マニュアルを作成。台帳整備のもと、防災訓練等で普及啓発を行って来たが、更なる有効活用を図り、本町も早急に避難者計画を立てていく。

問 要支援者に対して、申請を出す上での説明は。
町長 対象者だけでなく、啓発も兼ね全家庭に配付し、質問等には民生委員にも協力依頼をした。

問 地域の人は、地域で守る、自助・共助の機能をさらに広めるための避難行動要支援者避難計画は。
町長 現在は災害時要支援者支援マニュアルを作成。台帳整備のもと、防災訓練等で普及啓発を行って来たが、更なる有効活用を図り、本町も早急に避難者計画を立てていく。

総合型地域スポーツクラブの継続と発展は

宮崎博巳 議員

—地域に根ざした活動の支援を検討する—

問 総合型地域スポーツクラブは生涯にわたりスポーツに親しみ幅広い世代が様々なスポーツを楽しむクラブで、地域住民が主体となって運営を行っている。本町は平成22年度から始まり現在約240名の会員で構成されているが、地域住民が元気で健康維持が図られるよう町の支援が必要であるが。

問 健康維持につなげ医療費削減と、また介護予防、介護保険の削減にもつながる、その観点から年会費等の補助を。

問 厚生労働省は毎年11月を「児童虐待防止月間・※DV防止月間」として啓発運動の推進に取り組んでいるが本町の現状は。

問 10代・20代の若いカップルが被害者・加害者にならないため中学生の「デートDV防止教育」が必要だと考えるが。

問 山梨県においては相談件数が1,230件と年々増加しているが、本町の相談件数は。

町長 開設時の平成22年度は178名平成26年度は245名（12教室）と推移している。関係課と相談し事業の委託等安定的運営が可能となるよう検討する。

町長 町全体の健康増進やスポーツなどの面で、有効な策であるのか十分検討する。

町長 町が相談を受けた場合は県内の専門機関である「ひゅあ総合」や「女性相談所」を紹介し、その中で町ができる手続きなどを関係各課で行っている。

教育委員長 DV被害者のためのワンストップ窓口の設置が求められているが、職員体制を含め検討する。

教育委員長 DV教育を実施している。「生命の誕生や命の大切さ」・「お互いを尊重すること」・「自分を大切にする」などの教育活動に取り組んでいる。

いきいき健康課長 平成25年度は7件、平成26年度は2件であり、今後周知に努める。



カローリング

※DV（ドメスティック・バイオレンス）の略
夫婦や恋人などの親密な関係にある者から振るわれる暴力のことをいう。

六郷の里・ニードスポーツ施設、日曜日も営業を!

佐野勝也 議員

——ニーズ調査し検討する——



問 六郷の里・ニードスポーツセンターは、スポーツ施設だけでなく、ドーム型サウナ・談話スペース等多目的施設として広く利用されている。現在日曜日が休館となっているが、日曜営業は可能か。

町長

平成17年の開業当初は日曜日を営業日としていた。利用者が少ないため休館日とした。期間が経過したこ

とから、改めて日曜営業のニーズを調査し検討する。



ニードスポーツセンター



問 人口増加策としての結婚支援について取り組み状況は。

町長 現在、結婚支援事業は実施していない。行政が行う結婚支援事業は、あまり実績が上がらないケースが多い。今後も、結婚支援としてではなく、若者が集う交流事業開催で代替していきたい。

※官公庁オークション
「地方税の滞納などにより差し押されたもの」や「不要となった公有財産」をオクションで売ること。売り主は公的機関（例えば「市川三郷町」となる）となる。

志村総務課長 買い替えにより不要となつた可搬式消防自動車を、小型ポンプを降ろしトラックとして使用しているケースもある。

町長 町税等滞納時の差し押さえ財産の処分にあたつては官公庁オークションを活用している。

問 不要となつた機器・自動車等の町の財産処分にあたつて、※官公庁オークションの活用を。

審議結果

◎第3回臨時会（11月25日）

| | 結果 |
|------------------------------------|---------|
| ・平成26年度一般会計補正予算（第8号）の専決処分につき承認を求める | 承認 全会一致 |
| ・職員給与条例の改正 | 可決 全会一致 |
| ・町長の給与及び旅費条例の改正 | 可決 全会一致 |
| ・教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の改正 | 可決 全会一致 |
| ・平成26年度一般会計補正予算（第9号） | 可決 全会一致 |
| ・平成26年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号） | 可決 全会一致 |
| ・平成26年度介護保険特別会計補正予算（第3号） | 可決 全会一致 |
| ・平成26年度訪問看護ステーション西八代特別会計補正予算（第2号） | 可決 全会一致 |
| ・平成26年度簡易水道特別会計補正予算（第3号） | 可決 全会一致 |
| ・平成26年度公共下水道事業特別会計補正予算（第3号） | 可決 全会一致 |
| ・平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） | 可決 全会一致 |
| ・鳴沢川高田地区内水対策ポンプ設備工事請負契約の締結 | 可決 全会一致 |

◎第4回定例会（12月8日～19日）

| | |
|-------------------------------------|---------|
| ・平成26年度一般会計補正予算（第10号）の専決処分につき承認を求める | 承認 全会一致 |
| ・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定 | 可決 全会一致 |
| ・国民健康保険条例の改正 | 可決 全会一致 |
| ・都市計画税条例の改正 | 可決 全会一致 |
| ・定住促進住宅設置及び管理条例の改正 | 可決 全会一致 |
| ・福祉保健総合ステーション運営委員会設置条例の廃止 | 可決 全会一致 |
| ・平成26年度一般会計補正予算（第11号）（第12号） | 可決 全会一致 |
| ・平成26年度国民健康保険特別会計補正予算（第5号） | 可決 全会一致 |
| ・平成26年度介護保険特別会計補正予算（第4号） | 可決 全会一致 |
| ・平成26年度簡易水道特別会計補正予算（第4号） | 可決 全会一致 |
| ・平成26年度公共下水道事業特別会計補正予算（第4号） | 可決 全会一致 |
| ・平成26年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号） | 可決 全会一致 |
| ・過疎地域自立促進計画の変更 | 可決 全会一致 |
| ・みはらしの丘・みたまの湯、のっぷいの館の指定管理者の指定 | 可決 全会一致 |
| ・市川三郷町道路線の認定（2件） | 可決 全会一致 |
| ・鳴沢川高田地区内水対策除塵設備工事請負契約の締結 | 可決 全会一致 |
| ・固定資産評価審査委員の選任につき同意を求める（3件） | 同意 全会一致 |
| ・教育委員会委員の任命につき同意を求める | 同意 全会一致 |
| ・人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める（4件） | 適任 全会一致 |

議会傍聴にお出かけください

次回定例会は3月に予定されています。

傍聴の定員 本会議 30人 委員会 各8人

◆12月定例会の傍聴実績（のべ人数）

本会議 8人 委員会 3人

◆会議録検索システム利用件数

平成26年1月から12月まで 5,727件

◆お問い合わせ 議会事務局 TEL055-272-1108

△人権擁護委員△
島田三貴子氏
芦沢祐子氏
遠藤（上野）
熊谷玲詩氏
裕子氏
（岩間）
（市川大門）
（市川大門）

△教育委員会委員△
笠井庸子氏
（岩間）
（宮原）

△固定資産評価審査委員△
依田千利世氏
渡邊正弘氏
井上金好氏
（上野）
（市川大門）
（市川大門）
（宮原）

人事

原稿を募集します。

みなさまのご意見をお寄せください。

400字詰め原稿用紙1枚以内、氏名(区名)・顔写真の掲載など詳細は、お問い合わせ下さい。

お問い合わせ：議会事務局 TEL055-272-1108

みんなのページ



三珠保育所の子どもたち

平成26年度は47名の園児と8人の職員です。年長組になると4月より伝統のある一輪車の取り組みを行っています。

「梅組になつたら一輪車に乗るんだ」とあこがれていた一輪車。ころんで、すりむいて、痛い思いもしたけれど、運動会には、かっこいい姿をみせました。「一輪車大好き！」と楽しく乗っています。一人一人のたくましさと意欲が感じられました。

市川三郷町大塚地区で作る「大塚にんじん掘り」も年長組(梅組)になると体験でき、楽しい事一杯。元気一杯、パワー一杯の子どもたち これからも頑張ります！

楽しいにんじん掘り



一輪車大好き

今年の干支は、未(ひつじ)です。正月にいただいた賀状には、多くの羊が描かれていました。小さな葉書に、工夫された羊はどれも見事でした。

県立美術館にあるジャンル・ランソワ・ミレー作「夕暮れに羊を連れ帰る羊飼い」は私の大好きな絵のひとつです。

この絵に象徴されるように、戦争や災害のない穏やかで平和な世界でありますようにと祈らずにはいられません。

(記 佐野)

議会広報編集特別委員会
委員長 副委員長
市川丹澤 小川佐野 高尾
朝嗣充朗 好一勝也 貫

編集後記